

令和4年度事業報告書

I 事業概要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策やオミクロン株の影響により、雇用情勢をはじめ経済活動や日常生活全般に亘って深刻な影響を及ぼしました。その一方でワクチン接種率も上がり、行動制限も緩和され社会経済活動も徐々に回復基調となりました。

このような中、65歳までの定年延長や70歳までの就業機会の確保が企業努力義務となった法制度導入や高齢者の就業ニーズの多様化等により60歳代の入会者が減少し、会員の年齢層の上昇や新規会員の減少等シルバー事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。一方、少子高齢化による労働力人口が減少傾向にあるため、働く意欲がある高齢者が就業しやすい環境を整え、年齢にかかわらず働けるシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

当センターとしてもその一翼を担うべく、高齢者が地域で安心して働くことができるよう整備し、積極的な地域参加・地域貢献ができるよう、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を基本に各種事業を展開してきました。

令和4年度当センターの会員数は、前年度比入会者11人減の78人、退会者12人増の89人で合計11人減の504人となりました。

受託事業においては契約金額213,901,170円で前年同期比776万円増となり、うち公共関係は2,000万円の増、民間関係が1,900万円の減、家庭が600万円の増になりました。また、労働者派遣事業においては、720万円の増となりました。

女性会員の増員を図るため研修会等を開催し、情報共有及び連携強化を図りました。また、県費の高齢者就業拡大支援事業のマッチング支援員によって、働く意欲を有した新規会員の見つけ出しや就業開拓等も図りました。

以上のように課題はあるものの、会員の方々のご尽力によるセンター事業の推進と地域社会に貢献するための事業運営が図られました。

また、コロナ禍で様々な制約を受けましたが、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進や社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、事業の取り組みを進めてまいりました。

事業実施報告について

会員の状況

会員数は、前年度末515名より11名2.1%の減少となりました。

会員数 504名 (男性338名、女性166名)

前年度比 11 名減少（男性 6 名減少、女性 5 名減少）

事業実績

受託事業契約金額	213,901,170 円	（前年度比 103.8%）
（うち公共）	64,717,542 円	（前年度比 147.7%）
（うち企業）	78,232,542 円	（前年度比 80.1%）
（うち家庭）	70,950,847 円	（前年度比 109.7%）
労働者派遣事業	23,441,554 円	（前年度比 144.3%）
（労働者派遣事業受取手数料収益 2,350,573 円）		

II 事業報告

1 就業開拓提供事業

（1）受託事業

高齢者が培ってきた知識、経験、技能を生かし活力ある地域社会づくりに寄与することを目的として、公共機関、民間事業所および個人家庭への訪問を行い、新規就業開拓を実施しました。また、センター事業の周知と理解を得ながら受託事業の拡大推進を図りました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、管理関係及び観光関係の仕事の契約金額が減少しました。

受注件数 5,613 件 就業実人員 454 人 就業率 90.1% 延人員 47,075 人日
契約金額 213,901,170 円

（2）独自事業（受託事業のうち）

新たな独自事業への取り組みを検討しました。

（3）職業紹介事業

臨時的かつ短期的または軽易な業務で、請負・委任になじまない雇用就業を希望する高齢者のための、有料の職業紹介事業は実績がありませんでした。

（4）労働者派遣事業

臨時的かつ短期的または軽易な業務で、請負・委任になじまない労働者派遣事業の実績

件数 28 件 延人員 4,219 人日 金額 23,441,554 円

2 入会促進、相談事業

（1）毎月「市政だより」に入会説明会の予定を掲載し、広く市民への入会案内を行いました。4月から3月の第2金曜日と第4金曜日に事業委員会と総務委員会の委員が交代でセンターの業務や仕組みについての説明を行いました。

（2）入会説明会を受けられて未入会の方へマッチング支援員が訪問し、話を聞

きながら入会を促しました。

(3) 毎月1回開会されるハローワーク主催の「シニア就職応援セミナー」の参加者へ、センターの仕組み等を説明しました。それらの結果、令和4年度の入会者78名(男性48名女性30名)、退会者89名(男性55名女性34名)となり令和3年度末より11名少ない504名となりました。今後も、未就業の会員の方との相談を増やし就業率を高め、退会の抑制に努めます。

3 安全・適正就業事業推進事業

(1) 会員の安全就業、健康の維持増進はセンター事業のすべてに優先することを認識自覚して無災害・無事故を目指し取り組みました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため思うような活動ができませんでした。

①安全・適正就業対策委員会の開催

安全・適正就業対策委員と地区安全対策員との合同会議を3回(7月、12月、3月)開催しました。

令和4年度から6年度使用の「安全就業標語」については、5名から22作品の応募がありました。「不慮の事故 起きる前に 再確認」小林恭子会員

②安全パトロールの実施

事故の撲滅を目指し安全就業巡回指導を7月から9月14件、10月から12月に11件実施し、安全防護具の着用、器具等の安全使用の指導をしました。おおむね適正に作業が実施されていましたが、問題点等がある場合は現場において指摘しました。また、口頭により会員の安全に対する意識の高揚と啓発活動に努めました。

③講習会及び安全大会

○講習会

当センター主催の安全講習会を3月に開催予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○安全大会

公益社団法人福島県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会に参加しました。

日時 令和4年7月19日

場所 福島テルサ

講演 「笑いと健康 ～笑って健康維持～」

講師 福島県立医科大学 医学部疫学講座

主任教授

大平 哲也 氏

④事故発生状況

傷害事故発生件数	4件(入院0件 通院4件)
損害事故発生件数	11件(物損11件)
労災事故件数	0件

(2) 適正就業の推進

臨時的かつ短期的又は軽易な業務に係るものであっても請負・委任になじまない仕事については、労働者派遣事業及び職業紹介事業を積極的に推進することとして適正就業ガイドライン等を遵守し、適正就業の徹底に努めました。

4 普及啓発の促進

就業ニーズの対応や就業を通しての生きがい対策の推進を図るため10月の普及啓発促進月間時にリーフレット900枚を役職員で配布し、PR活動の推進を図り、会員役職員のロコミ運動に努めました。役職員による事業所訪問のほかマッチング支援員による事業所訪問も行い、普及啓発に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため啓発活動に制約がありました。

センターの会報「はつらつ」を年2回発行し、宣伝広報に努めるとともに地域社会に根ざしたセンターを目指しました。また、ホームページを利用し、各種事業活動状況、会員説明会の日程等を紹介しました。さらに「自主・自立、共働・共助」の精神を高めることを目的として、ボランティア活動を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら、中止せざるを得ない状況が多くなりました。

ボランティア活動の状況

地区	実施月	内 容	参加人数
全体	10月	鶴ヶ城清掃	31名
	4月	鶴ヶ城クリーン作戦	中止
1地区	4月	石部桜周辺除草作業	中止
	8月	飯盛山周辺清掃、除草作業	中止
2地区	8月	鶴ヶ城公園内テニスコート周辺清掃	6名
3地区	6月	会津若松駅前公園清掃	中止
4地区	6月	社会福祉法人 会津みどりホーム 除草	6名
	7月	諏方神社境内清掃	11名
5地区	7月	西若松駅周辺清掃	中止
6地区	9月	小田山忠霊堂清掃	8名
7地区	10月	明精会 介護老人保健施設「美野里」除草、清掃	10名
8地区	10月	「広田保育所」除草、剪定	中止

5 調査研究

全シ協・県連合会及び関係機関等の各種研修会・講習会に参加し、高齢者の就業に関する情報の収集交換をするなどセンターの円滑な事業運営に努めました。また、他センターの先進事例等をホームページや会報により情報収集を行うなど意識を高めました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議等はオンライン会議となり、先進地視察等は中止となりました。

6 訓練研修の実施

多様化する地域社会の要望に応えるため、また会員が永年培ってきた知識や能力を更にスキルアップするためにセンター主催の講習会及び福島県シルバー人材センター連合会が主催する高齢者活躍人材育成事業に参加し、技術向上及び入会促進を図りました。また、当センターの役員及び事務局職員の資質向上を図るため、効果的な研修へオンラインでの参加をしました。研修会等を通じて女性会員同士の情報共有及び連携強化を図りました。

III 法人管理事業

1 会員の状況

令和4年度末会員数504名

2 会議の開催

(1) 定時総会 1回

(2) 理事会 6回

(3) その他の会議

① 各委員会（総務、事業、女性、広報）

② 地区長・班長会議 2回